

眼鏡メーカー担当者が解説。 自分に合った 偏光グラスに 会うには？

偏光グラスにはいろいろなフレームやレンズカラーがある。ロッドやリールと同じようにどんな性能を重視したいかで選択肢が変わってくる。購入の助けになるよう、バスアングラでもある商品企画担当者に解説をお願いした。

(以下、愛眼株式会社・商品企画課藤岡一博さんによる解説)



ストームライダーSR-008P
スクエアワイドタイプⅡ

フレーム素材 ● TR90樹脂
フレームカラー ● ブラック×グリーンメタル / マットブラック×バーブルメタル
レンズカラー ● テンダーグレー×ブルーミラー / オリーブグリーン×ブルーミラー / マロンブラウン / クリムゾンピンク
価格 ● 1万4000円～1万6000円＋税
問合先 ● 愛眼 ☎06-6772-3406 <http://www.stormrider.jp/>

自然な見え方を重視したノーマルカーブでありながら、顔とレンズの隙間を埋めるようにフレーム内側の上下にサンシェードを設けているのでフレーム外からの風や光が入りにくい。レンズ面が約10°下を向くよう設計されているので、快適に水面を見続けられる。テンブルはバネ性があるのでフィット感がよく疲れにくい。うえ、フレームとは別パーツのチタン製アームの鼻パッド、メタル芯内蔵のラバー耳掛けによって掛け心地を調節できる。レンズ横の樹脂パーツは取り外すことができ、通気性を向上させられる。

偏光グラスの役割

釣り用偏光グラスの大きな役割はふたつあげられます。ひとつは水面の乱反射をカットし水の中を見やすくしてくれること、もうひとつは目の保護です。

偏光グラスが普通のサングラスと異なるのは、特定の反射光のみをカットして水面のキラツキを抑え水中を見やすくしてくれることです。単に魚を見つけれられるという以外にも、地形やウイードの有無など水中のようすがわかるのとわからないのとはバズフィッシングの面白さが大きく違ってくると思います。

そしてそれにも負けず重要だと考えているのが、フックや紫外線から目を保護してくれる

という役割です。バスフィッシングでは根掛かり回収時やフッキングミスをしたときに不意に飛んできたルアーで目を傷付けてしまうケースが少なくないです。ですから不意の事故で目を傷つけたりしないよう偏光グラスの着用を薦めています。愛眼ではナイトフィッシング用のアイウェアも提案しているんですよ。

目を守るという意味では紫外線をカットする機能も重要です。晴れた日の湖上のように、強い紫外線に長時間当たるとは目にとても過酷な状況です。とくに普段オフィスなどで働いていてあまり陽に当たらない人が、休日に炎天下の湖上で10時間釣りをしているケースのように、慣れない強い紫外

レンズの選び方

偏光グラスのレンズはブルーングレー、グリーンなどさまざまなカラーがラインナップ

されています。フィールドや目的に応じて、まずカラーの種類、次に濃さの順で選んでください。

グレイや濃いグレイはナチュラル系と呼ばれます。青のものは青いまま、赤のものは赤いまま、普段見ているのと同じ色合いで暗くなります。自然な色合いのため脳が処理しやすいカラーと言えるかもしれません。ただ、暗くなる分、物の輪郭はソフトになります。

対してグリーン、ピンクなどのカラーはコントラスト系と呼ばれる。自然の景色から若干色調を変化させることで物の輪郭をはっきり見せる効果があります。たとえば緑っぽい水の中に生えているウイードなどの形をはっきり見やすいです。

ブラウンはナチュラル系とコントラスト系の中間的なカラーで、ふたつの機能のバランスが取れている汎用性の高いカラーです。

こういったカラーの特徴を踏まえていただいたうえで、ロライタでも使いたいの、かまぶしさを抑えるのを重視したいかを考えて色の濃い薄いを選んでください。

紫外線を防ぐという観点からは、なるべく薄い色がオススメです。色が濃くなるからと言って紫外線カット率が高くなるわけではありません。暗いレンズを掛けると瞳孔が広がってしまうので、レンズの範

囲外から入って来る紫外線をより多く目の中に取り込んでしまふことになります。

フレームの選び方

多くの場合、フレームはワンモデルワンサイズですが、人の顔の形はそれぞれ違います。両耳の真上を結んだ一番広い幅が顔のサイズなので、テンブルの幅がここにフィットするものを選んでください。そのうえで、ノーズパッドなど顔に合わせて調節できる機能が充実しているものもいいです。

またフレームに対するレンズの取り付け角も重要です。レンズは視線と直交する角度になるほど違和感が少ないです。釣りをしているときは水面を見下ろしていることがほとんどですから、レンズに前傾角

ストームライダーレンズカラー選択チャート

	ナチュラル系 自然な色合いを重視したいとき	中間 バランスのとれた見え方	コントラスト系 輪郭をくっきり見たいとき
薄い色 ローライトでも使いたいとき	テンダーグレー		オリーブグリーン
濃い色 まぶしさを抑えたいとき	スレートグレー G-15	マロンブラウン	クリムゾンピンク

をつけて設計されているものが快適にかけられます。コアな話になりますが、欧米人は耳の位置が高いのでサングラスをかけたときにレンズが自然と下向きになりますが、日本人が欧米人向けに作られたものをかけるとたいへん頬に隙間が空いてしまふほどレンズが前を向いてしまふ。また、欧米の方は顔の横幅も狭いので、欧米ブランドのモデルを選ぶときは注意が必要かもしれません。

レンズとフレームのカーブが緩い方が自然な見え方になります。フレームのカーブがきつすぎると鼻が屈かなかつたり頬が当たってしまったたりしますが、きちんとフィッティングされたものならカーブのある方が視野が広く、顔へ密着する分フレーム外からの余計な光が入りにくいです。広い視野を重視する人や隙間を気にする人はハイカーブモデルを選ぶ人が多いです。自然な見え方を重視する人はレンズカーブのゆるいモデルを選んでください。B

レンズを長持ちさせるための注意4か条

- ①レンズ表面の変質を防ぐため、雨などに濡れたまま放置しないこと
- ②ワームの可塑性、整髪料、油脂などはコーティングがはがれる原因になるので付着したらその場でふき取ること
- ③からぶきは傷がつく原因なのでしないこと
- ④レンズを拭く場合は、レンズクリーナーをつけてからティッシュなどで拭く、なければ濡らせたクロスで拭くこと